

はまだ議会だより mini

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、にぎやかな正月をお迎えの方も多いのではないかと思います。昨年の議会広報広聴委員会では、広報機能として、紙媒体とWEB版の年12回はまだ議会だよりの発行、広聴機能として、第3回となるはまだ市民一日議会や28会場での議会報告会（地域井戸端会）の実施に力を入れてきました。はまだ市民一日議会でもいただいたご意見が事業につながるなど手応えを感じています。

今年は「ミライへつながる議会」を意識して、主権者教育の推進に特に力を入れます。若者との意見交換の場づくりなど若い世代の方が議会に関心を持っていただけるよう進めていきます。

本年も市民の方に分かりやすい広報広聴活動に取り組んでいきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（議会広報広聴委員会）



安芸高田市の2施設を視察

令和5年11月28日に広島県田美土里町が過疎債などの国からの支援を受け、約30億円（うち約7億円は取付道路整備）を投じて設立し、令和5年で25年が経過する「神楽門前湯治村」と、事業費約23億円（市12億、国11億）で開業して3年となる広島県内の道の駅で最大の



売り場面積（約720㎡）を誇る産直棟のある「道の駅三矢の里あきたかた」を視察しました。設立の経緯や現在の経営状況や課題などを聴取するとともに施設の現況を確認しました。この成果を浜田の課題解決に反映していきます。（産業建設委員会）



議員のつぶやき

“どうしよう！日本の四季が”

春は穏やかな気候であるはずが厳しい暑さの夏日に代わり穏やかさがなくなった。秋はいつまでも暑く、さわやかな空はどこへ行った、などと思っていたら突然気温が下がるので冬用衣料を出し衣替えしたら気温が上がり、一枚脱いで汗を拭かなければならないなど「てんやわんや」な季節になった。四季はどこへ行ったのだろうと思う今頃で、人によっては冬と夏の二季になるなどと言っているが杞憂であればいいな。（川上幾雄）

議長 12/9「石見神楽蛇胴製作技術」日誌 浜田市指定文化財登録記念式典

石見神楽「大蛇」の演目で迫力ある動きを作り出す「石見神楽蛇胴製作技術」が浜田市無形文化財に指定されました。植田倫吉さんは祖父が明治時代に考案された技術と道具を受け継いでおられます。この文化財指定により、浜田市が石見神楽の本場であることが広くアピールされ、石見神楽がますます盛り上がることを期待します。



浜田市議会はSDGsを推進しています。